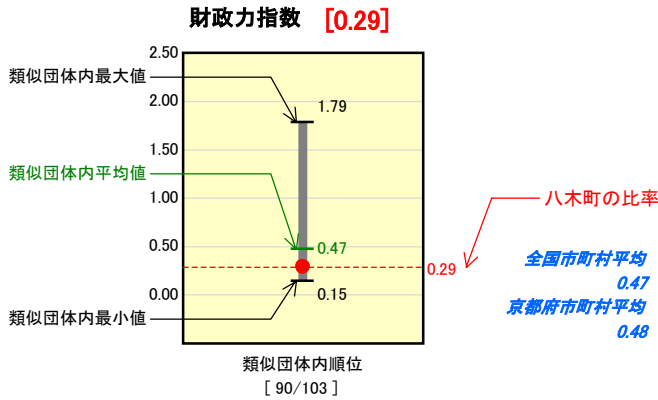


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

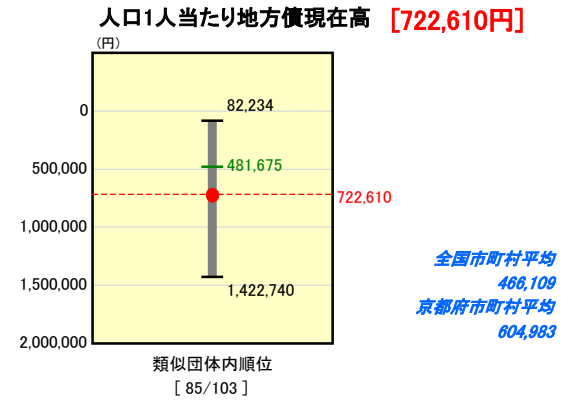
京都府 八木町

人口	8,740 人(H17.3.31現在)
面積	49.56 km ²
歳入総額	5,384,868 千円
歳出総額	5,290,438 千円
実質収支	46,638 千円

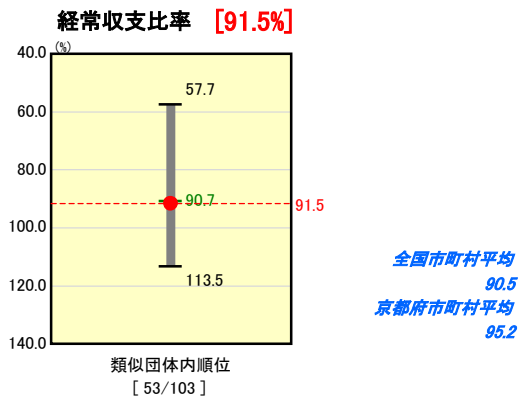
財政力



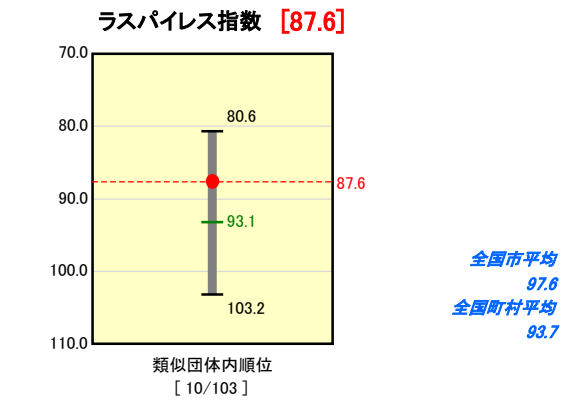
将来負担の健全度



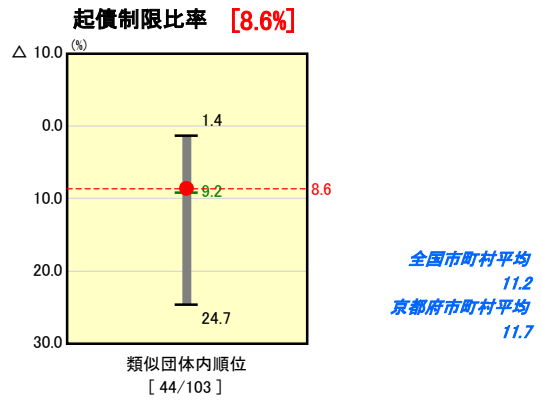
財政構造の弾力性



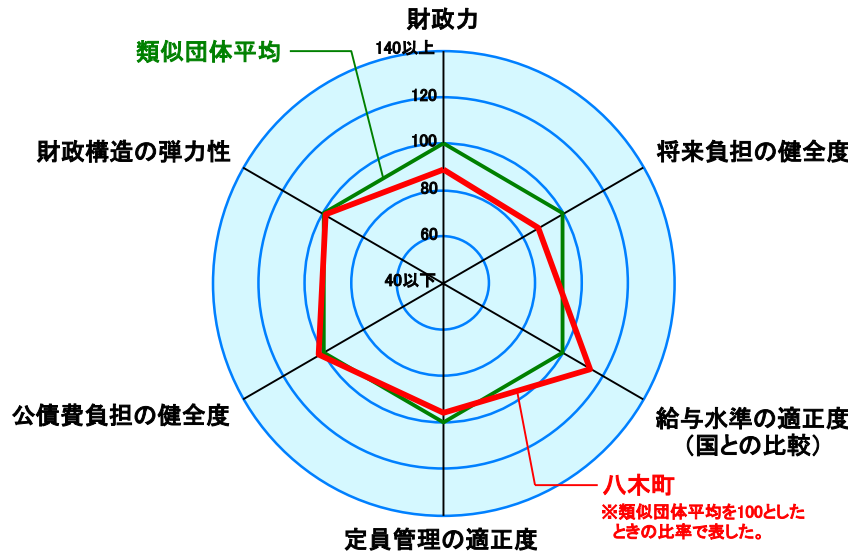
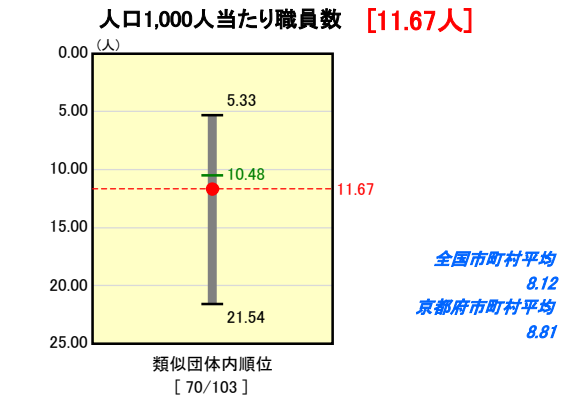
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
町税の歳入に占める割合が20.4%と低く、自主財源が乏しい。地方交付税に依存せざるを得ない財政状況であり、財政力指数は類似団体平均を大きく下回っている。厳しさを増す地方財政の状況を反映して、財源の確保が困難な状況である。

【経常収支比率】
類似団体平均並みの水準であるが、前年度に90%台に到達し、今後も年々悪化の状況が見込まれる。市町村合併(南丹市・平成18年1月1日)を契機に、人件費の削減など行財政改革に取り組み、財政硬直化の回避をに努める。

【起債制限比率】
かねてより、交付税措置のある起債の発行を重点的に行っているため、比率は良化の傾向にある。今後は繰上償還の実施なども検討し、比率の抑制に努める。

【人口1人当たり地方債残高】
類似団体平均を上回る地方債残高であるが、交付税措置があることから、実質的な公債費負担は抑えられている。今後、地方債残高の縮減に向け、新規事業の抑制に努める。

【ラスパイレス指数】
人件費抑制策を行った結果、指数は類似団体平均を大きく下回っている。

【人口1,000人当たり職員数】
近年の職員不補充により、職員定数は減少傾向にある。今後も外部委託を積極的に進めるなど、定員管理の適正に努める。